



2020年度
第23号

体育市民連帯 ニュースレター

“望ましい体育社会”

体育市民連帯と

皆さんと一緒に

作っていくことができます

私たちの連帯の活動に

積極的に参加下さる事を

希望します。

1 文化体育観光委員会

22日、故崔スクヒョン選手死亡
と関連した国会聴聞会開催



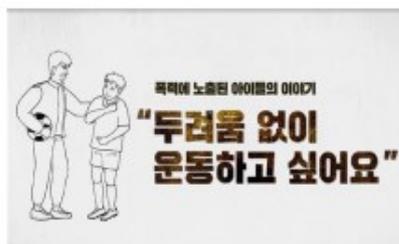
2 教育部

「学生選手 6万人の暴力被害
全数調査」



3 潜在的な悲劇だったのか

お粗末なスポーツ人権センター
限界克服のための方策が必要



4 スポーツ人権のための提言

カン・シンウク 檀国大
国際スポーツ学科教授



5 今週のスポーツ関連記事



01 ニュー시스 2020. 7. 14**文体部、22 日「崔スクヒョン聴聞会」... 崔スクヒョン両親が証人出席**

故・崔スクヒョン慶州市役所トライアスロン（鉄人 3 種競技）選手の死亡と関連した国会聴聞会が 22 日に開かれる。

聴聞会では崔選手の過酷な行為の加害者をはじめとする証人 31 人、参考人 11 人が出席する中、故人の死亡をめぐる真相究明と体育界の暴力・性暴力の制度改善について議論する予定である。

国会文化体育観光委員会（委員長ト・ゾンファン）は 14 日午前、国会で全体会議を開き、「トライアスロン選手の苛酷な行為と体育分野の人権侵害に関する公聴会」の実施計画書と証人・参考人採用案件を議決した。文体委は与野幹事間の協議で証人 31 人、参考人 11 人の計 42 人の聴聞会の証人・参考人名簿を確定した。

証人としてはまず、苛酷な行為の当事者として指名された「チームドクター」運動処方士アン・ジュヒョン（45）氏と金ギュボン前慶州市役所トライアスロンチーム監督、チャン・ユンジョン主将、金ドファン選手らが出席する。故人が過酷行為の被害を訴えて提出した陳情書処理に関連する関係者も証人として出てくる。ヨ・ジュンギ慶州体育会長をはじめ、慶州警察署長など慶州関係者と、李ギフン大韓体育会長、金ジンファン大韓体育会スポーツ人権センター長、朴ソクウォン大韓トライアスロン協会会長などトライアスロン協会関係者、金ハヨン慶尚北道体育会長などスポーツ界関係者が証人出席要求を受けた。故人の同僚選手 4 人も証人として出てくる。チェ・ヨンエ国家人権委員長は、故人の陳情処理過程について質疑のため証人として出席要求を受けた。故人が移った所属チームである釜山市役所トライアスロンチーム監督などは、崔選手事件もみ消しと懐柔疑惑と関連して証人として出てくる。

参考人としてはまず、故崔スクヒョン選手の両親が出席する。故人の母ユ某氏は李ヨン未来統合党議員を通じて出席の意思を伝えた。父親崔ヨンヒ氏は去る 10 日、国会を訪れ記者会見をして真相究明を求めたが、母親が公開席上に乗り出すのは初めてだ。故人以外に別の被害選手の母 2 人も加害者達の被害者に対する暴行・暴言証言のために参考人として出る。大田・天安・光州市役所トライアスロンチーム選手たちも出てくる。



このほか、ムン・ギョナン前スポーツ革新委員長と陳情を処理した大韓体育会クリーンスポーツセンター、スポーツ人権センター調査官も参考人として出席する。

聴聞会と関連して李ヨン統合党議員が「今回の聴聞会に必ず必要なのは、被害者の 2 次加害が発生しないようにすること」とし、加害者・被害者間の聴聞会場動線と証言空間分離と被害選手たちの必要

に応じて、親同伴出席などを提案して受け入れられた。

与野党議員らは聴聞会を通じた真相究明とスポーツ界の暴力再発防止対策に口をそろえた。

共に民主党幹事の朴ジョン議員は「残念ながら、従来あったスポーツ界の多くの性暴力・暴力の問題に直面していることは事実」とし「委員たちと一緒にこの問題だけは必ず 21 代国会前半には根絶しなければという気持ちで共に熱心にするようにしたい」と抱負を明らかにした。

同党のイム・オギョン議員は「単にスポーツ界だけでなく、私たちの社会全般に蔓延した文化が織りなした事件」とし「再びこのような事件が繰り返されないように、再びこのような事件でまた聴聞会が開かないように委員が強い責任感を持って真実究明と対策案を議論してほしい」と強調した。

キム・スンス統合党議員は「最近問題となっている崔選手事件のようなスポーツ界の不正と非道が根絶できるように最善を尽くしたい」と念を押した。

一方、統合党の国会復帰後、与野党がすべて参加した中で開かれた初の会議ではムン・ジェイン政府文化体育観光部長官を務めたト・ゾンファン文体委員長の履歴をめぐって三権分立違反ではないかと、野党側の指摘が出た。

ベ・ヒョンジン統合党議員は議事進行発言を通じて「同じ政府省庁の長官出身は国会常任委員長を引き受けないという国会の除斥習慣が崩れた事例になった」とし「会議の開始に先立って行政府の国会監査・牽制の役割を適切に行えないようにしたこのような状況に対して、委員長が国民に適切な遺憾の表明をしていただきたい」と注文した。

続いてベ議員が「例えば、試験を解いた学生が自分の解答用紙の成績表をつける状況について、国民が納得できない状況である」と指摘すると、ト・ゾンファン委員長は「そのような懸念が出ないように政権の監査機能を徹底する」と答えた。

*出典：<https://www.donga.com/news/Politics/article/all/20200714/101959688/1>

02 ニュー시스 2020. 7. 16

【 教育部、今日から 4 週間 学生選手の暴力被害全数調査 】



パクミンソク記者=参与連帯は、市民社会連帯会議をはじめとする市民社会団体の活動家が 20 日午前、ソウル鍾路区参与連帯で記者会見を開き、トライアスロン選手死亡事件真相調査と責任者の処罰、スポーツ構造改革のための共同対策委員会発足を知らせている。トライアスロン国家代表出身だった故・崔スクヒョン選手は指導者と先輩の暴行や嫌がらせを訴えていたが先月 26 日、釜山の宿泊施設で死亡したまま発見された。 2020.07.20。mspark@newsis.com

教育部が全国 17 の市・道教育庁と共に 21 日から 4 週間、学生選手 6 万人を対象に暴力被害全数調査を推進する。前慶州市役所所属トライアスロン（鉄人 3 種）故崔スクヒョン選手の極端な選択によるものである。

スケート「ジョ・ジェボム事件」後、国家人権委員会（人権委）が行った学生選手の実態調査以来 8 ヶ月ぶりに実施される再調査だ。教育部は 21 日、全国の小・中・高校に在学中の学生選手 5 万 9252 人を対象に、8 月 14 日までこのような全数調査を展開すると発表した。

事件が発生した慶州市役所がある慶北教育庁をはじめ、大邱教育庁と忠南教育庁は今月初めから独自の計画を策定して実態調査を行っていた。

教育部は学校運動部だけでなく、選手の登録をして個々の活動をしている学生選手まで含めて調査する。学校外の専門体育活動中に繰り返される暴力の被害まで調査範囲に含まれたものである。

今回の実態調査は訪問全数調査の方法を原則とし、市・道の条件に応じてオンライン調査を可能にした。教育部は去る 15 日、ソウルで実務奨学官が参加する会議を開き、実態調査再始動の必要性とその方法についての意見を調整した。特に新型コロナウイルス感染症（コロナ 19）が拡散している市・道では学生選手が登校していない場合もあり、調査方式をめぐる議論をした。教育部は調査の過程で暴力を犯した加害者が操作したり間違った答えを強要したりしないように、事前措置にも乗り出す。

まず、訪問調査では学校を担当する奨学官が学校を直接訪問して調査を実施し、現場で直接アンケートを回収する。オンライン調査は学校などではなく教育委員会が提供するツールを活用し、学校内の体育教師ではなく学校暴力専任教師が主管する。調査は学生の個人携帯電話やコンピュータ室などを活用して行われる。



ホンヒョシク記者=ユ・ウネ（中央）社会副首相兼教育相が 19 日午後、ソウル鍾路区政府ソウル庁舎で開かれた新型コロナウイルス感染症（コロナ 19）重大本会議に出席している。

2020.07.19 yesphoto@newsis.com

教育部はまた、全数調査を補完する意味で来月初めから「学生選手暴力の被害集中申告期間」を運営する。学生選手、保護者、教師などが被害を受けた学生選手を発見したら申告するように誘導し、調査のほかにも被害事案を綿密に把握するという構想だ。

教育部は単純な実態把握にとどまっていた人権委の調査から進んで、学生選手暴力の実態を把握することに今回の調査の目的を置いた。

調査で暴力を犯した加害者が判明すれば、教育部は警察の捜査依頼など強硬措置に乗り出す。

まず、監督などの指導者が加害者である場合には警察の捜査依頼、児童保護専門機関を通じた児童虐待の調査を推進する。また、大韓体育会に通報して体育指導資格についての懲戒まで行われるようにする。

加害者が学生選手の場合、学校の暴力事案の処理手順に従って後続措置をする。

教育部は特定の学校、運動部で連続・繰り返し暴力が行われたり、組織的隠蔽・縮小が疑われる事案が摘発された場合、管轄の教育庁と合同特別調査も推進する予定だ。

教育部は「昨年、人権委とオンラインを通じた全数調査を実施して全体的な暴力の現状を把握した」としながらも「学校運動部の指導者の懲戒の基準を設けて刑事処分に至るまでのシステムを構築したが、実態調査にとどまり、加害者に対する後続措置までつなげられなかった物足りなさがあった」と述べた。

ユ・ウネ社会副首相兼教育相は「今回の全数調査を通じて、学生選手を対象に横行している暴力的な文化を根絶しなければならない」とし「これからはスポーツ界の暴力が発生してはならないという重大なメッセージを送る」と述べた。

*出典：https://newsis.com/view/?id=NISX20200721_0001101976

03 連合ニュースTV 2020.7.14

【 お粗末なスポーツ人権センター...潜在的な悲劇だったのか 】

[アンカー]

故崔スクヒョン選手の悲劇を防げなかったスポーツ人権センターは、明確な限界を持っていました。

心理相談と調査業務の間の円滑な連携も行われなかったし、報告体系も不十分でした。

新たに発足したスポーツ倫理センターはこれらの問題点を全て克服しなければならない課題を負いました。
ジョン・ジュヒ記者です。

[記者]

慶州市と警察、大韓トライアスロン協会、クリーンスポーツセンターなど6カ所も門を叩いた故崔スクヒョン選手、最後の声には失望感が満ちていました。

<故崔スクヒョン選手> " (反論できる証拠資料とかあれば...) そんなものありません。今私達に... “
被害選手の人権を最も先頭に立って取りまとめなければならない体育会、しかし持っている限界ははっきりしました。

心理相談と調査業務を担当した人権センターは、心理カウンセラー4名と調査官3名が全員、さらに2つの部門が物理的に分離されており協力も困難でした。

調査官3人は1人当たり2~3件の事件を同時に調査する必要があったし、最長6ヶ月と規定されていた事件終結前までは、センター長以上に報告されませんでした。

李ギフン会長が、悲劇が起こった6月26日になってようやく崔選手事件を認知した理由です。

<李ギフン/大韓体育会長>「スポーツ公正委とクリーンスポーツセンターの仕事は結果だけ報告を受けます。」
前には2月トライアスロン協会が崔選手から陳情書を受け取って独自の調査の末、もみ消した事実も体育会には知る事ができませんでした。

協会が報告しない以上、協会レベルで調査する事件をいちいち全て見る事ができないという体育会は、このすべての理由を予算と人材不足にしました。

来月、スポーツ倫理センターが文体部傘下に体制を大きくして発足しますが、限界をすべて克服し正常に機能できるかどうかは未知数です。

*出典：<https://www.yna.co.kr/view/MYH20200714009300641>

04 ハンギョレ 2020.7.15

[なぜなら]スポーツ人権を生かすための提言 カン・シヌク



カン・シンウク 檀国大
国際スポーツ学科教授

故崔スクヒョン選手の死を深く哀悼し体育人の一人として、まず重い責任を痛感する。多くの国民が激しい怒りを表わして大統領までスポーツ人権を心配する現実に至った。これらの悲劇は今回が初めてだったら文化体育観光部の特別調査団に大きく期待もして大韓体育会の対策声明を喜ぶだろう。しかし、過去数年間、どれほど多くの悲劇がスポーツ界で続き、そのたびに大韓体育会はどんなに多くの声明書と対策を打ち出したのか？文体部もまったく自由ではない。

スポーツ界で暴力、性暴力の問題が深刻な社会問題として台頭した時期は、盧武鉉政府発足直後の2003年頃だ。それ以前にも重大な事故は発生したが、スポーツ界と社会は言及をタブー視した。一言で言って選手たちは叩かれて当然だったし、性暴力もただそれまでのことであった。そうだったものが体育学界と政界、メディアが立ち上がりながら盧武鉉政府の後、20年近くスポーツ界の暴力、性暴力の問題は私たち社会の清算戦争の対象となった。しかし、あざ笑うかのように問題は根絶されなかった。その理由は、不十分な処方と不適切なシステムのためだった。事故が起これば毎回調査団や委員会が設けられ、責任を負う人は後ろにずっと逃れた。辞退や謝罪どころか、すべての責任をすぐ問題になった人や機関のみ追い込んだ。一部の人は後でまたこっそり戻ってきた。調査団は調査後に処罰、告発、対策を発表し任務を終えた。対策にどのようなセンターや委員会の新設と補強が常に薬舗やくほに甘草かんぞうのように含まれた。(訳注：どんなことにも必ず介入する人や欠くことのできないもの)

スポーツ現場は思うよりもはるかに閉鎖的で保守的である。選手たちは自分の選手生活に影響を与えるいかなる決定も自分でできない制度的な無力感を頻繁に経験する。したがって申告システムは時代遅れと見てもよい。今回、崔スクヒョン選手の場合のように人権センターの機能もすでに選手たちの間で信頼を失った。事故が起きると実施する全体的な実態調査もどれほど無意味だったか、今回の悲劇が如実に見せてくれた。したがって、これからは指導者を含め、選手たちの間に発生する暴力、性暴力の問題を常に誰か見ていると認知するだけのシステムを稼動する必要がある。いわゆる常設モニタリングシステムであり、その誰かはまさに選手自身だ。小学校からプロ選手、そして鎮川選手村に入村した国家代表に至るまで12万人程のすべての運動選手を対象に年2回ほど、所属チームで経験した暴力、性暴力の実態を調査しなければならない。携帯電話のアプリの機能を開発して、シンプルで秘密に自由応答できるシステムを開発すれば良い。大きな費用がかかることもない。応答結果は必ず所属機関長に機密文書の形で報告し、問題がある団体の場合は直ちに調査に着手すればよい。調査内容は暴力、性暴力の問題に限定され、今後のスポーツ界でこの問題が根絶されたと判断するまで継続する必要がある。

常時監視システムを介してすべての人権問題を解決することはできないが、現在の有益ないくつかの制度に加えて実施されれば選手たちの人権改善と指導者の教権の向上にも相当寄与するものとする。もう一度、崔スクヒョン選手の冥福を祈る。

*出典：<http://www.hani.co.kr/arti/opinion/because/953797.html>

05 【今週のスポーツ関連記事】

「文体部監査でも変わらない」...カーリングチーム金キム、関係者の処罰を促す

http://www.hani.co.kr/arti/sports/sports_general/954492.html

大韓民国スポーツ工場では /ジョン・ヨン Chol、ヨ・ジュンヒョンインタビュー

https://www.ytn.co.kr/_sn/0107_202007180619503133

7月第一週スポーツ界話題関心度「スポーツ人権」が97%の圧倒的1位

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20200713104900007>

崔ユンヒ文体部次官、スポーツ倫理センター設立の現状を点検

<https://www.hankyung.com/sports/article/202007148707Y>

[単独]「3時間ずつ2週間不動の姿勢」...大田体育中高で苛酷な行為疑惑

<http://mn.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=4495802>

エリート体育の壁、にわか処方で乗り越えられるのか

http://news.khan.co.kr/kh_news/khan_art_view.html?art_id=202007181326001

文化・体育・観光分野の公共機関セクハラ・性暴力対応システムの点検

http://world.kbs.co.kr/service/news_view.htm?lang=k&Seq_Code=359795

エリート体育廃止スローガンだけ叫ぶも教育庁、施行案は「足踏み」

<http://www.okinews.com/news/articleView.html?idxno=208508>

文化体育観光部、体育分野の人権専門家と人権保護方案論議

<http://www.lecturernews.com/news/articleView.html?idxno=44257>

故崔スクヒョン手書き陳述書公開... 22日の公聴会

<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=4496812>

崔スクヒョン選手過酷行為露見した時、加害選手は賞を受け

http://www.hani.co.kr/arti/sports/sports_general/953853.html

故崔スクヒョン選手事件聴聞会... 慶州市側「証人」の問題はないか

<http://news.imaeil.com/Society/2020071514421456155>

[社説]公聴会で偽証しないでください

http://www.kbsm.net/default/index_view_page.php?idx=282402

「今回も怒鳴るだけ?」... 「故崔スクヒョン聴聞会」控えた国会、課題は?

<https://news.mt.co.kr/mtview.php?no=2020071518224767660>

「故崔スクヒョン選手に苛酷な行為」慶州市役所トライアスロンチーム監督拘束令状の申請

http://news.khan.co.kr/kh_news/khan_art_view.html?art_id=202007172126015

金スンウォン議員 “慶州市、故崔スクヒョン選手の死の放置は職務放棄”

<http://www.newspeak.kr/news/articleView.html?idxno=226116>

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com